

これは、新教育課程に伴う女子生徒の必修の教室であり、その二階は約百疊敷きの合宿室で、クラスコンバやクラブの合宿に用いられ、生徒の人格陶冶に貢献している。

同窓会館完成後、同窓会PTA合同の設備委員会が結成され、この二者の七百万円にのぼる後援によつて



家庭科教室全景（内部写真は4面）

昨年度、一部県予算も上された。土地値上りの激しい昨年の事情から、又、生徒と学校の将来の展望から見る。

本主義の運命^リで、資本主義の国際通貨体制の危機と日本経済の今後の見通しに(1)てもふれられた。

独立記念日

次回の名簿発行は 50年度の予定

昭和五十年に発行予定の会員名簿は、実際には四十九年度中に原稿を整えますので、各回の幹事や、地元の支部の方々には、本年度から御厄介をおかけすることになりますが、住所等不明者の調査に御協力をお願ひします。次期名簿の内容等詳細は追って発表致しますが、前回のものに改良を加えてまいります。

住所異動の際、幹事さんか事務局へ御連絡を下さるよう、会等の機会に徹底させておいていただきたく、又つとめて把握されるようお願ひします。

陶冶の思潮は、欠くことの出来ない現代の流れである。このとき、母校の生徒数・クラブ活動の全員参加の方向、校庭の面積など考えた時、校庭拡張は母校必須不可欠の現実となってきた。この声に呼応して委員会は昨年度よりこの問題に、学校当局と協力して取りかかっている。

演題　ベトナム以後のアジアと日本
今、この時、各位の御協力を當局者は熱望している。
（○○円）
同窓会は、

飯田高校同窓会事務局
電 (イイダ) (〇二五二)
三一六五〇

陶冶の思潮は、欠くことの出来ない現代の流れである

場所 飯田高校新館三階・会議室
講師 田中正明氏（中29回）

設備委員会に

飯田高校同窓会報

第五号
発行所
県飯田高等学校同窓会
編集発行人
内道明
印 刷 所
田共同印刷

本年も左記のごとく同窓会総会を開きます
同窓生多数御出席下さい。

同窓会館設立の時、一口三千円の寄附を依頼し、その折、未だ御寄附願えなかつた方々に、一口三千円の御援助を願つて当てる。

私は、しつとりとランベルされたダイヤモンドをしながら帰路につく時、若人の汗と涙を吸ったこのグランドから去りがたい気持がある。桜の枝葉が揺れて静寂がグランドを支配し、とつぶりと暮れた闇の中に、勝利の執念に狂う幽鬼が、マウンドに立ちはだかり、みたひたと黒い手足をのばしてグランドをおおいしくしていく。敗北の詩は敗北の死へと転化させなくてはならない。きよめられたグランドにバックネットを背に立つと、私のいぢけた魂は勝利の女神の寝所を求めて闇の中に防護をはじめる。

杯を持ち帰れるという虚をさせ、二百米、四百リレー、ハードルなど毎全国大会に出場し、その大会でも多くの好成績を出すといった全盛時代であった。しかしグランドはせまく、全力疾走直線七十米がやっとそれる広さであった。素質のある、練習熱心な部員が何人もそろっていたし、家庭も全面的に協力しているといった好条件がそろっていたという事もあつた。だが私は、これらの好条件の他にグランドを切実に激しく愛する心の存在を強調しなくてはならない。

グランドの想い

中島正韶（高11卒）

生にはあまりにも重
ハシで、根雪となり
当を壊り棄てて一日
、グランドが使用出
来るようによ
、春まだ浅い
風の冷たい夕
闇のグランド
に黙々と働き
姿。一日の練
習の終わり、清められたグ
ランドへ、ミ
レーの晩鐘の
絵のように、
頭を垂れ、グ
ランドに別れ
を告げ明日を
約す。こうし
たグランドへ
の限りない愛
が、勝利へ導
く大きな要因
であつたと思
う。

私は別に世
に言う根生主義、精神主義者ではないつ
もりだ。でき
るかぎり科学
的合理的トレ
ーニングであ
りたいと思つ
ている。グラ
ンドは広く、
分に満たされて欲
校の放課後のグラ
ンドと共に存して
てもおいかない

限界から来る問題である。スポーツの各種のゲームは人類が生み出した共通的文化遺産であり、「歴史的記念物」であり、次の世代に受け継ぐべき生きた文化である。その意味で高校の体育や運動クラブには、人類の教育史としての実践的歴史教育的要素がかなりの位置を占めるとと思う。高校を卒業すると、スポーツに朝しむことはきわめて不可避であり、社会体育施設がまだ不十分である日本においては、高校時代におけるスポーツは重要な意味を持つている。それ故一層の施設の充実が望まれ、本校においてはグラウンドの拡充が課題であり、テニスコートをもう一面欲しいとの声も強い。



甲子年春仲老古碑印

後援会だより

渋谷監督補佐

中島監督

吉川部長

だき、募金も順調に目標に近づいております。
この皆様の御協力に心から感謝申し上げますと共に、
今後とも一層の御支援を賜
わりますようお願ひ申し上
げます。

(追記)

尚、この募金計画に御贊
同下され、御支援いただ
けるならば、飯田高校内
野球部後援会事務局宛に
お送り願えれば大変幸甚
に存じます。

(追記)

吉川部



中島監
督



A black and white portrait of a man with dark hair and glasses, wearing a suit and tie. The photo is set within an oval frame.

渋谷監督補助

学而会について

飯田中学第三十一回の卒業生は卒業記念事業に図書館（同窓会記念館）の裏へ防火貯水槽を兼ねて、当時まだ軟弱であった校庭へ散布する川の流砂をとる目的で夏休みを返上して全員の勤労奉仕によつて池を堀りこの池の名を学而池（今は埋められて碑を残すのみ）と命名した由来から学而会と称している。

全国から必ず送金されて来る。これは会誌「学而」が会員だけでなく、会誌が届くと会員より先に奥さんが隅から隅まで読むという熱心な愛読者を持つ程に会報が会員家族にまで親しまれているからで、今年は還暦記念号として三百頁位のものを発行しようと計画している。

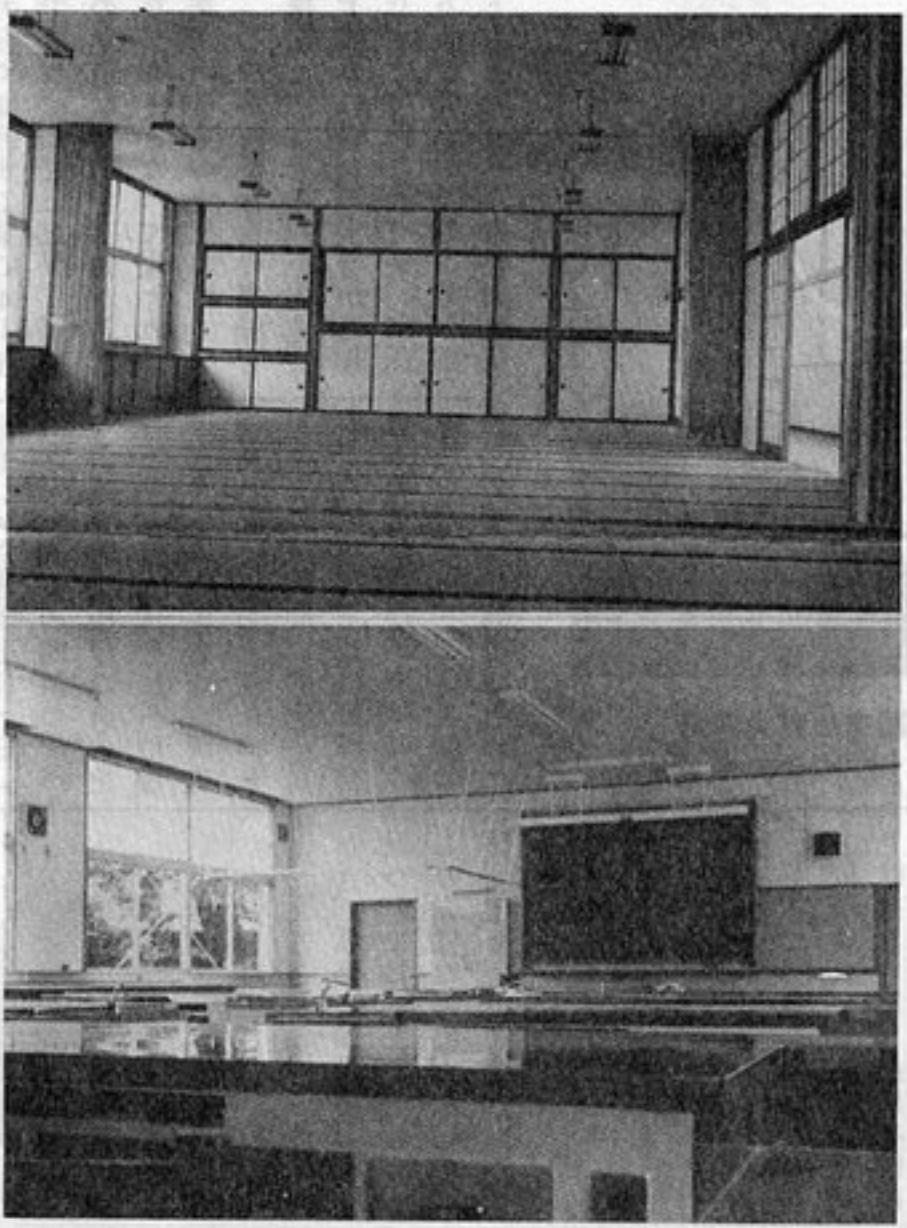
関勝の写真、下島正夫の版画や挿画をいた部厚い学而が何回も出されるようになつた。

卷を重ねる毎に会員の消息もわかり始め、北原寛先生木下春雄先生を始めとして昔の先生方をお招きして戦歿者の追悼法要を行なつたり、先生と修学旅行のやり直しをしたり、最近は東京大阪等まで遠征して学而会を開くようになっている。

校歌の「天竜川はイイとして」といつの間にか歌われていたのを普通り「イダして」と歌うよう提案して、採用されたのを記念して卒業二十五周年記念事業に校歌の額を学校へ寄附した。(この時迄学校には校

同じ校舎・校庭・教室で過ごしたのに卒業式を最後に全員が一堂に会するということは恐らく永久に不可能となってしまうものである。卒業式の前に同級会としての基礎を固めておけば我々が二十年もかかって作り直したような苦労はせずとも会をまとめていける筈である。これから卒業される諸君は、是非卒業前に会としての基金を作り、この運用をしつかりやることを考えれば、卒業後も常に同級生の連絡を保てるし毎回こうした基金を作り運用していくと同窓会とも連絡していくば同窓会も強力となり飯田高校独自の奨学金を作ることも不可能ではないと考え、提案する次第である。

一年目を迎えて……



完成なつた家庭科教室

伊豆から一年

去年の六月、伊豆の伊東でクラス会を催してから一年が過ぎ去った。次は関西で集ろう、ではその世話は私が引受けた。西宮の松崎君が奔走を続け、比叡山ホテルへの集合通知が届いたのは二月の初めであった。

比叡への想望頻り

いよいよ五月十三日、幸いにして天候に恵まれて多数参加、再会の楽しさを満喫できたことは欣快に堪えない。

比叡への道

ホテル専用のバスで京都駅前を発つ。クッショーンのすばらしい、明るいこの車は、二条城、御所を経て鴨川を渡る。

京都から約一時間たらずで、中腹の一本杉地籍、ホ

緑にまじって、岩つつじが色とりどりに咲き乱れてい

藤つつじ比叡変れど

変らざり

延暦寺については、いま

校歌いくたび

斎藤 隆

祐

比叡旅情

飯中第十九回クラス会記



は美しい。もうこれ以上開発してはいけない。
延暦の事蹟は間わず

ツツジ賞づ

田君は伴奏テ
ーブを持参、NHK時代劇
に因んで、坂本竜馬の活弁
上杉謙信の川中島詩吟、新
平家を長唄「能野」により
三部作を披露した。篠田君

の喉は有名、プロもはだし
忽ちホテルのきれいどころ
京美人も、耳をすまして聴
き入るのであった。

特別招待の先輩、在市田

の中川氏は得意の尺八で一
曲を魅了した。

大鍋が吊されて、お粥が一

ぱい煮えたぎっている。

粥に見合う山菜を主とし

た清楚淡白の料理が運ばれ

朝酒の味が格別となつた。

粥のうまさ、これは絶叫に

値する。お代りの数を覚え

ている者はなかつた。

粥うまし 比叡の

初夏の朝惜しむ

▲その他の

松崎武雄（西宮）・小林幸

治（福岡）特別招待者・中

川元三（第十七回高森）

はヤクルト寮我儘はきかな

黙禱、宴会に移つた。去年

はヤクルト寮我儘はきかな

ばい煮えたぎつていて。

粥に見合う山菜を主とし

た清楚淡白の料理が運ばれ

朝酒の味が格別となつた。

粥のうまさ、これは絶叫に

値する。お代りの数を覚え

いる者はなかつた。

粥うまし 比叡の

初夏の朝惜しむ

▲その他の

松崎武雄（西宮）・小林幸

治（福岡）特別招待者・中

川元三（第十七回高森）

はヤクルト寮我儘はきかな

黙禱、宴会に移つた。去年

はヤクルト寮我儘はきかな

ばい煮えたぎつていて。

粥に見合う山菜を主とし

た清楚淡白の料理が運ばれ

朝酒の味が格別となつた。

粥のうまさ、これは絶叫に

値する。お代りの数を覚え

いる者はなかつた。

粥うまし 比叡の

初夏の朝惜しむ

▲その他の

松崎武雄（西宮）・小林幸

治（福岡）特別招待者・中

川元三（第十七回高森）

はヤクルト寮我儘はきかな

黙禱、宴会に移つた。去年

はヤクルト寮我儘はきかな

ばい煮えたぎつていて。

粥に見合う山菜を主とし

た清楚淡白の料理が運ばれ

朝酒の味が格別となつた。

粥のうまさ、これは絶叫に

値する。お代りの数を覚え

いる者はなかつた。

粥うまし 比叡の

初夏の朝惜しむ

▲その他の

松崎武雄（西宮）・小林幸

治（福岡）特別招待者・中

川元三（第十七回高森）

はヤクルト寮我儘はきかな

黙禱、宴会に移つた。去年

はヤクルト寮我儘はきかな

ばい煮えたぎつていて。

粥に見合う山菜を主とし

た清楚淡白の料理が運ばれ

朝酒の味が格別となつた。

粥のうまさ、これは絶叫に

値する。お代りの数を覚え

いる者はなかつた。

粥うまし 比叡の

初夏の朝惜しむ

▲その他の

松崎武雄（西宮）・小林幸

治（福岡）特別招待者・中

川元三（第十七回高森）

はヤクルト寮我儘はきかな

黙禱、宴会に移つた。去年

はヤクルト寮我儘はきかな

ばい煮えたぎつていて。

粥に見合う山菜を主とし

た清楚淡白の料理が運ばれ

朝酒の味が格別となつた。

粥のうまさ、これは絶叫に

値する。お代りの数を覚え

いる者はなかつた。

粥うまし 比叡の

初夏の朝惜しむ

▲その他の

松崎武雄（西宮）・小林幸

治（福岡）特別招待者・中

川元三（第十七回高森）

はヤクルト寮我儘はきかな

黙禱、宴会に移つた。去年

はヤクルト寮我儘はきかな

ばい煮えたぎつていて。

粥に見合う山菜を主とし

た清楚淡白の料理が運ばれ

朝酒の味が格別となつた。

粥のうまさ、これは絶叫に

値する。お代りの数を覚え

いる者はなかつた。

粥うまし 比叡の

初夏の朝惜しむ

▲その他の

松崎武雄（西宮）・小林幸

治（福岡）特別招待者・中

川元三（第十七回高森）

はヤクルト寮我儘はきかな

黙禱、宴会に移つた。去年

はヤクルト寮我儘はきかな

ばい煮えたぎつていて。

粥に見合う山菜を主とし

た清楚淡白の料理が運ばれ

朝酒の味が格別となつた。

粥のうまさ、これは絶叫に

値する。お代りの数を覚え

いる者はなかつた。

粥うまし 比叡の

初夏の朝惜しむ

▲その他の

松崎武雄（西宮）・小林幸

治（福岡）特別招待者・中

川元三（第十七回高森）

はヤクルト寮我儘はきかな

黙禱、宴会に移つた。去年

はヤクルト寮我儘はきかな

ばい煮えたぎつていて。

粥に見合う山菜を主とし

た清楚淡白の料理が運ばれ

朝酒の味が格別となつた。

粥のうまさ、これは絶叫に

値する。お代りの数を覚え

いる者はなかつた。

粥うまし 比叡の

初夏の朝惜しむ

▲その他の

松崎武雄（西宮）・小林幸

治（福岡）特別招待者・中

川元三（第十七回高森）

はヤクルト寮我儘はき

社会科研究室の棚の上にあつた木像に、左臂が無いと気がついたのは三、四年前のことであつた。その間にこれは慧可の像だと思った。その後、木像の内部を底からくり抜いた穴の中から、経文らしい一枚の紙片が発見された。

社会科研究室の棚の上にあつた木像に、左臂が無いと気がついたのは三、四年前のことであつた。その瞬間にこれは慧可の像だと思った。その後、木像の内部を底からくり抜いた穴の中から、経文らしい一枚の紙片が発見された。

ット文字であるのか、明らかでないが、近いうちに専門家に鑑定してもらう予定である。昨春、中国の長沙で発掘された馬王タイ侯夫人のミイラは朱の水につかっていたが、朱字のこの断片（経典の断切であろう）は、何時木版で彫られたものだろう。

日本水墨画の第一人者雪舟等揚は、応仁元年（一四六七年）五十才ぐらいで遣明船に伴なわれて明に渡ったが、およそ一年で帰国した。破墨山水図などと並んで有名な「慧可断臂図」は彼が七十七才の時に筆写したものである。洞穴の中の岩壁に向かい、こちらに左側面を見せて坐禅している白衣の慧可は、ひげ面のたくましい男で、目の玉の里の部分は吊上つており、暗い印象を与える我が木像とは似てもつかないものである。

慧可の木像と經文



慧可の木像

矢島勝

仁寺の長老であつた清啓天
与西堂であつた。平均九百
石の十隻からなる船団は朝
貢貿易のためであつた。遣
明正使の清啓は八代將軍足
利義政の献上品をもち、応
仁二年に明の憲宗皇帝に謁
見し、その返礼品を託され

可は六年間ひたむきに努力した。ダルマが彼に「君は真理の為には命を惜しまぬか」ときくと彼は自分の左臂を切断して



骨の容器（信玄の骨の一部か？）は、尾林焼であると下伊那農業高校の遮那先生が話してくれた。

『徒然草』第一百五十段にぼろんじ（梵字）などと言われ、後に虚無僧と言われるようになつた放逸無慾で死を軽んじた僧の話がみえるが、この普化禪宗は、一五四四年に信州筑摩郡神林の生れの覚心という僧が中國から伝えたものであつた。この徒は、尺八を吹き、敝衣をまとい、こも、むしろ

を持参して隨所に野宿した。惠僧は馬の聖（ひじり）ともよばれ、梵語をとなえたところから「ぼろんじ」といわれたのではないかと云われている。普化宗は明治四年に廃宗となつたが、庄仁の頃、風穴道者を中心全国に盛んになつた。

なつかしの歌

二 東の空 澄みわたり
鶴鳴告ぐる 朝ばらけ
この朝未明 起きいで
静かに想う 幾星霜
若人何か ならざらん

菁々寄々歌



白銀戴く 高嶺の
懐はしる 龍水の
豊饒の峡谷に 囲まるる
この古東に 来たり去る
学徒の斯文 いや深し

◎卓球◎

卓球部の先輩の皆様お元気でそれぞれ御活躍のことと存じます。皆様の残して下さった部の伝統を受けつぎ、十六名（内女子二名）の部員が毎日練習を続けております。皆様の目から見れば、或いは歴史が足りないと映るかも知れませんが、年々低調になるクラブ活動、特に運動クラブの中には、あって卓球部は他の部に決して劣ることのない、激しい内容のある練習と技術研究を続け、皆様の足跡に恥かしくない実績をあげていると自負しております。

本年も南信大会においては、団体二位、単三位、複一位の成績で県大会に臨みました。県大会では団体三位、複三位でしたが、北信越ブロック大会に団体、単複各一の出場権を得ました。

尚、国体第二次予選会への参加資格を二名が得ております。

先輩が活躍された強歩大会でも毎年上位に部員が名をつらねており、日頃のトレーニングの成果が出ております。

新校舎の建築にともない部室の位置は変わりました

が、あの東体育館では常に白球がとび交っています。

是非一度お出かけ下さい。後輩と打ち合っていただき

たいと存じます。では又。（吉池記）

◎剣道◎

新館一階の同窓会事務室の隣りに剣道場があります。まだ体育の正課として剣道は実施されていないので、本校では専らクラブが使用

古から解放されてかかり稽古、地稽古等に汗を流しています。

今春の成績は数年来のできでした。南信大会では個人の部で優勝しました。南信大会では個人の部で優勝（三年松沢徹君）三位（二年山口益弘君）五位（一年吉

のうち、一位

一、二位二、

三位一の成績であった。

部員が僅か九人、そのうえ投とき選手

一回戦二一一 東海第三

二回戦二一一 岡谷南

決勝二一一 伊那北

個人戦 橋本・松下組

ベスト8（県大会へ）

。県大会（松本県営）

団体戦：二位

一回戦二一一 塩尻

二回戦二一一 坂城

決勝二一一 白田

個人戦 橋本・松下

二一四 長野中央

学校だより



—運動クラブ—

今春の成績は数年来のできでした。南信大会では個人の部で優勝（三年松沢徹君）三位（二年山口益弘君）五位（一年吉

のうち、一位

一、二位二、

三位一の成績であった。

部員が僅か九人、そのうえ投とき選手

一回戦二一一 東海第三

二回戦二一一 岡谷南

決勝二一一 伊那北

個人戦 橋本・松下組

ベスト8（県大会へ）

。県大会（松本県営）

団体戦：二位

一回戦二一一 塩尻

二回戦二一一 坂城

決勝二一一 白田

個人戦 橋本・松下

二一四 長野中央

◎陸上◎

五月十九・二十日の両日、駒ヶ根工業高校において、南信高校春季陸上競技大会

がいないので芳しい成績をあげられないところですが、現在の部員は一・二年生が主であるので来年の活躍に期待できるものと思います。

母校を中心、断片的にもよいから、思い出を語つていただきたいというコニーを設けます。同窓会には記録がないので、幾人かの記憶や資料を提供していただいて正確を期し、或るものは物語りとして保存したいという念願です。御賛同と御協力を賜わり、話題を投げかけていたいたり資料をお出し下さるようお待ちしています。

先ず今回はこちらからお尋ね致します。

① 飯田同志社

明治三十五年第一回から

大正四年第十四回までは、

卒業生を送る記念写真が不

連続に残っていますが、

如何なる集団か、何処にあ

つたのか等は記録がありま

せん。御存知の方々にそれ

ぞ語っていただきたい。

決勝戦で敗れはしたもの

の好成績をあげることがで

き、今後も大いに期待する

ところである。

今年のインター・ハイに

おける庭球班の成績は次の

ようであった。

○Mリレー、一六〇〇Mリ

レー、一一〇MH、走り幅

とびの八種目に入賞し、そ

の後輩と打ち合っていただき

ました。受験勉強の都合で

他校より引退の早い三年生

が春の高体連大会を最後に

道具を新入生に譲ったので、

長かつた素振りばかりの稽

古から解放されてかかり稽

古、地稽古等に汗を流して

います。

当初学生ホールに使う計

画のあった道場は床がもろ

ました。受験勉強の都合で

壁が厚く諸戦で敗退してし

まいましたが、二年生を中

道具を新入生に譲ったので、

心に来年こそはと稽古に励

んでいます。

子十八人女子三人で、女子

はこの四月に初めて参加し

ました。受験勉強の都合で

他校より引退の早い三年生

が春の高体連大会を最後に

道具を新入生に譲ったので、

長かつた素振りばかりの稽

古から解放されてかかり稽

古、地稽古等に汗を流して

います。

当初学生ホールに使う計

画のあった道場は床がもろ

ました。受験勉強の都合で

壁が厚く諸戦で敗退してし

まいましたが、二年生を中

道具を新入生に譲ったので、

心に来年こそはと稽古に励

んでいます。

子十八人女子三人で、女子

はこの四月に初めて参加し

ました。受験勉強の都合で

他校より引退の早い三年生

が春の高体連大会を最後に

道具を新入生に譲ったので、

長かつた素振りばかりの稽

古から解放されてかかり稽

古、地稽古等に汗を流して

います。

当初学生ホールに使う計

画のあった道場は床がもろ

ました。受験勉強の都合で

壁が厚く諸戦で敗退してし

まいましたが、二年生を中

道具を新入生に譲ったので、

心に来年こそはと稽古に励

んでいます。

子十八人女子三人で、女子

はこの四月に初めて参加し

ました。受験勉強の都合で

壁が厚く諸戦で敗退してし

まいましたが、二年生を中

道具を新入生に譲ったので、

進学状況

進学率も今年は実質四八パーセントといふ結果ではあるが、早・慶・明・中央・立命館・同志社等、比較的好成績を収めた。

48年3月大学合格者数（48.4.28現在報告のあった者）

(注) 合格者数の()内は現役の数を示す

最近3カ年の進路状況

	國立一期校		國立二期校		公立校		私立校		短大		各種學校		就職者	
	現	卒	現	卒	現	卒	現	卒	現	卒	現	卒	男	女
45	58		62		13		371		18		21		35	
	32	26	35	27	9	4	159	212	16	2	18	3	26	9
46	44		63		19		319		24		18		35	
	26	18	41	22	9	10	150	169	15	9	16	2	30	5
47	69		57		11		347		21		22		22	
	40	29	31	26	4	7	147	200	18	3	10	12	14	8

今年から春季に発行することにしました。今年の総会の記事が来年にならないことはとお知らせできないことは物足りません。この会報が会員との唯一の連絡機関でもあり年一回では心もとなない気持です。会員各位からのご意見や、同級会だよりその他資料等提供が多くなれば年二回の発行も計画したいと思っております。

編集
後記

一回三千円 前回寄附の
有無を忘れた方は御問合せ
ください。されば御返事します。
(高校二十四回生以降は不要)

設備委員会への

学園に咲くつづり

維持会費納入状況

納めてください
とあり、ご協
がとうござい
各年度分別に
入をまとめて
通りです。

に今までの納みると次表の割合のあつておりました。

話近く（住所判明して
るもの）あることを示し
、特に若い層には八
の未納がみられる回も
、生活が忙がし過ぎ
こと、同窓会の存在が
的であるだけに、つい
くしまうものと思われ

りが、名簿無償のこととともに、関連して、納入人数の底辺が見通される一つの時期だと観ています。

個人別納入明細表を同封してあります。未納分も今後わせてお願ひしたい。

毎回申し上げてくださいますが、四十九年度分までの五カ年分完納者には本期名簿を無償にということが実現出来るよう絶大なご

昭和四十八年度
維持会費のお願い

昭和四十八年度分 三八八人 維持会費制度の四年目を している次第です